

平成30年度 国本中央小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

「人間尊重の教育」を基盤とし、豊かな人間性をもち、意欲をもって主体的に生きていくことができる心身ともに健康でたくましい児童の育成

☆ 心豊かで思いやりのある子ども（やさしく）

☆ 自ら学ぶ子ども（かしこく）

☆ 明るく元気な子ども（たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- （1） 社会の変化に柔軟に対応する資質・能力をもち、心身ともに健康な児童の育成のために、全職員が校務分掌を分担し、一致協力して学校経営にあたる。
- （2） 地域の教育力や、学校のもつ環境資源を生かした教育活動を効果的に実践し、地域・家庭・学校園と連携しながら、社会に開かれた教育課程の具現化を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）【心の教育の充実】

基本的な生活習慣と規範意識の育成

○児童が自信と自己有用感をもてる学級経営

いじめ、不登校への組織的対応

物事の多面性を理解し、自己を深く見つめる道徳教育の推進

（2）【学習指導の充実】

基礎・基本の確実な定着を目指した、「分かる授業」の展開

○学業指導の徹底による、学びの場の形成

児童が課題を自覚し、対話型の学びの中で主体的に学習する力を育成する学びの集団作り

ユニバーサルデザインの導入、タブレットの効果的活用

（3）【体力の向上と健康・安全意識の高揚】

○多様な運動に取り組むための運動機会の確保と方法の工夫

健康・安全な生活のための判断力の育成。家庭と連携した食習慣の育成

（4）【特別支援教育の充実】

児童一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うための特別支援教室の運営の充実

関係機関との連携を図った、通常学級における支援の必要な児童への対応の充実

（5）【地域とともにある学校づくりの推進】

○学校と地域が情報を共有し、児童の健全育成のための連携

地域教育資源（人・物・場所）の効果的な活用による体験活動の実践と郷土愛の涵養

（6）【教員の働き方改革の推進】

教員の業務内容の見直しと勤務時間の適正化

〔国本地域学校園教育ビジョン〕

自ら学び 心豊かで 元気な国本っ子

～地域とともにある学校をめざして～

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

○豊かな心と郷土愛涵養のための、豊かな環境と地域教育力を活用した教育活動の実践

【児童生徒指導】

・基本的生活習慣、規範意識の育成による節度ある学校生活の構築

○学級活動や道徳指導を通した、自己有用感の育成といじめ防止と不登校対策の強化

【学習指導】

○学業指導の徹底による「学びに向かう学級集団」の形成

・主体的・対話的な学びの実現に向けての授業づくり（学力アッププロジェクト事業2年目）

【健康（体力・保健・食・安全）】

○自分の体に関心をもち、進んで健康・体力の向上に努める児童の育成

・「食」への関心を高め、偏食の改善を含めた正しい食習慣の指導

【教員の業務内容・時間の適正化】

・重点目標の焦点化による、活動内容の精選・統合

・会議・研修の削減と日課表等の見直しによる、業務時間の確保

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「私は学校が好き」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 食農体験活動（稲作・畑作）など本校の特色ある体験活動について、対象学年・ねらいを明確にし、児童が主体的に取り組めるよう事前・事後指導の充実を図る。 ② 児童会活動や清掃活動などにおいて、縦割り班活動や異学年交流の場を確保し、充実を図る。 ③ 話合いの場を意図的に設定することで、望ましい集団作りを目指す。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は92%であり、目標を上回った。 ・発達の段階に応じて様々な教育活動が実施できた。 【次年度の方針】 ① 児童がより主体的に関わることができるよう改善を図り、地域の特色を生かした教育活動の充実をめざす。 ② 縦割り班活動や異学年交流を充実させ、明るくいきいきとした学校づくりを目指す。 ③ 話合い活動を充実させ、活気ある学校づくりを目指す。
	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① ねらいを明確にした「分かる授業」を展開する。 ② 個別指導の場の確保や個に応じた指導の充実を通して、基礎・基本の定着を図る。 ③ あいさつや人権意識を高める指導の充実を図る。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は99%であり、目標を上回った。 ・学力向上を目指し、分かる授業の実現に向けた校内研修を充実させた。 【次年度の方針】 ① 「分かる授業」を目指すために、教材研究・校内研修の充実を図る。 ② 児童の学習状況を把握し、個に応じた指導を充実させる。 ③ 学業指導の充実を基に、基本的生活習慣の徹底を図る。

A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている」 ⇒教職員・児童の肯定的回答 85%以上	① 「月別の重点目標」を基に生活目標を設定し、基本的生活習慣や学習習慣の定着を図る。 ② チャイムの合図や時計を見て自主的に行動できるようにする。 ③ 水道やトイレの正しい使い方、廊下の正しい歩行の指導を徹底し、安全な学校生活が送れるようにする。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は96%、児童の肯定的回答は83%であった。 【次年度の方針】 ① 実施継続。 「学習のきまり」、「生活のきまり」、「月別の重点目標」を基に隔週の生活目標を設定し、基本的生活習慣や学習習慣の定着を図る。 ② 時間を守って行動できるようにする。校庭での声掛けを実施する。 ③ 水道の使い方、廊下の歩き方について、生活当番の巡視の際など、全職員で重点的に指導する。
A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 学習のねらいを明確にし、教材・教具を効果的に活用し、分かる授業を展開する。 ② 児童の実態を把握し、習熟度別学習やT・T（ティーム・ティーチング）、かがやきルームでの学習など多様な指導方法を活用し、個に応じた指導の充実を図る。 ③ 公開授業及び研究会、校内研修の実施などを通して、教員の指導力向上に努める。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は99%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 学習のねらいとまとめを明確にしたわかる授業を実施する。また、ICTやタブレットの活用も推進する。 ② 児童の実態を把握し、習熟度別学習やT・T（ティーム・ティーチング）、かがやきルームでの学習など多様な指導方法を活用し、個に応じた指導の充実を図る。 ③ 公開授業及び研究会や校内研修の実施などを通して、教員の指導力向上に努める。
A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① いじめアンケートや教育相談等を活用して児童の実態把握を行い、いじめの早期発見、早期対応に努める。 ② 各種便りや懇談会等でいじめ防止に向けた学校の取組を発信し、家庭・地域と連携・協力していじめ撲滅に努める。 ③ いじめをテーマにした授業公開を行い、学校の取組を周知する。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は98%で、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 定期的に児童の実態把握に努め、いじめの防止や早期発見に努める。（アンケート調査を年5回実施する。教育相談は年2回実施する。） ② 学校だより・学年だより等でいじめアンケート調査の実施や教育相談などの学校の取り組みを保護者に知らせる。 ③ 道徳の授業公開をする際、いじめ防止を扱った内容を行う。情報モラル指導を企業と連携して行う。
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケート「学校の日課・授業・行事などは適切に実施されている」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 地域学校園内の各校と連携を図るとともに、十分な授業時数を確保し、本校の特色ある行事や体験活動が行えるようにする。 ② 地域の人材や外部講師等を意図的・計画的に活用する。	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は96%で、目標を上回った。 ・地域の特色を生かした学習活動を実践することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の反省や地域学校園との情報交換の結果を基に、教育課程の一層の改善を図る。 ② 本校の特色ある行事や体験活動を充実させ豊かな教育活動を実践するために、地域人材やボランティアを活用した学習を年間指導計画に位置付ける。

A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 各種便りの発行やホームページの公開等を通して、学校内の情報を積極的に発信する。 ② 授業参観や学校公開等を通して、児童一人一人の学習の様子を積極的に公開する。 ③ 学校公開日は地域及び地域協議会へも参観の案内をする。	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は96%で、目標を上回った。 ・学校便りやPTA便り、学校ホームページの定期的な更新等により、学校の教育活動を家庭や地域に発信できた。 【次年度の方針】 ① 学校ホームページ等を活用した分かりやすい情報発信を継続する。 ② 授業参観では、各教科・道徳科など、児童の学習状況や生活の様子を公開する。 ③ 地域住民に学校公開の案内を出し、参観を呼びかける。
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 地域協議会の学校安全部会やPTAと協力して、児童の登下校の安全確保に取り組む。 ② 地域協議会やボランティアと連携したり、地域の施設を活用したりして、教育活動の充実を図る。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は90%であった。 ・地域協議会の学習支援部会やボランティアと連携・協力し、学習の充実が図れた。 【次年度の方針】 ① 関係諸機関と連携・協力し、児童の安全を確保する。 ② 地域協議会と連携し、地域の施設やボランティア人材のさらなる活用により、教育活動の充実を図る。
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である。」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 縦割り班で清掃を行い、上級生がリーダーシップを発揮し、隅々まで清掃できるよう指導する。また、道徳科や学級活動を通して、「学校をきれいに使おう」「みんなの物を大切に使おう」とする心を育てる。 ② 教科等との関連を図りながら、緑化活動を推進し、校内緑化に努める。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は93%であり、目標を上回った。 ・緑化活動・清掃活動を実施し、校内の環境を整えることができた。 【次年度の方針】 ① 現状の活動を継続して行う中で、校内の学習環境の充実を図る。 ② みどり活動と関連を図りながら、緑化活動を推進する。
A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した取組を行っている」⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 乗り入れ授業を効果的にを行い、学習指導や児童生徒指導等における小中の連携を推進する。 ② 各部会の重点目標を設定し、目標達成に向け連携・協力して指導にあたる。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は88%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 地域学校園全体研修会等の機会を活用し、部会ごとの重点目標に向けて各校が連携・協力して指導にあたる。 ② 部会の活動内容について報告会を開催するなどして、地域学校園の取組について共通理解を図る。
A 11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。 【数値指標】 全体アンケート「学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 県非常勤教育職員や市非常勤職員の業務内容を明確にし、教員の業務の縮減を図る。 ② 業務内容の見直しを行い、学校運営が円滑に進められるよう工夫改善する。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は88%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 業務分担を明確にすることで、教員の業務の縮減を図る。 ② 県非常勤教育職員や市非常勤職員の業務内容を見直し、働きやすい職場環境を整える。

教育活動の状況		A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。 【数値指標】 全体アンケート「学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 打合せの時間を確保し、円滑なコミュニケーションが図れるよう努める。 ② 話合いの時間を意図的に設定し、風通しのよい職場づくりをめざす。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は96%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 打合せの時間を確保したり、連絡方法を工夫したりして、コミュニケーションが図れるようにする。 ② 話合いの時間を確保し、情報交換の機会を設定する。
		B1 教職員は、家庭や関係機関と連携・協力して、学校不適応への予防と個に応じた支援に努めている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、児童理解に努め、保護者や関係機関と連携しながら、個に応じた支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 家庭訪問、個人懇談、学級懇談、教育相談、Q-U検査、アンケート調査等を通して、児童理解に努め、いじめの早期発見・早期対応と不登校の予防に努める。 ② 職員会議や打合わせで児童の様子について情報交換を行い、必要に応じて外部機関と連携・協力しながら、全教職員で指導にあたる。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は96%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 個人懇談、教育相談、Q-U検査、アンケート調査等を通して、いじめや不登校、問題行動等の早期発見・早期対応に努める。 ② 職員会議や打合わせでの情報交換を通して全職員が児童理解に努めるとともに、組織的な指導を行う。
	生徒生活	A13 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 児童会や地域での「あいさつ運動」を実施し、明るいあいさつが実践できるようにする。 ② あいさつ実践カードを配付し、家庭への啓発を図る。	A	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が92%で、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 児童会を中心としたあいさつ運動を継続して行う。家庭・地域への啓発も意図的に行う。 ② 長期休業中にあいさつ実践カードを配付し、家庭への啓発を図る。
		A14 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 「さん」づけで呼んだり、「です、ます」で話したりできるよう、言葉づかいの指導を徹底する。 ② 時と場に応じた言葉遣いができるよう指導する。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が84%で、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 時と場に応じた言葉遣いの意識をさらに高める。授業中の「さん」づけを徹底する。 ② 生活目標に取り上げ、児童の言葉遣いへの意識を高める。保護者への啓発も意図的に行う。
		B2 児童は、思いやりの気持ちを持ち、助け合って生活している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は友だちに親切で、やさしくしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 「心ぽかぽか運動」や「しあわせ集会」を実施することにより、他を思いやり、友達に優しくする心の育成を図る。 ② 特別活動や縦割り班活動が、思いやりや助け合いの実践の場となるよう、教育活動を計画的に実施する。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答が90%で、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 人権週間との関連を図るなど、心の教育の推進を図る。 ② 児童会活動や休み時間等での縦割り班での活動を充実させ、思いやりや助け合いの心情を養う。

健康・体力	A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動をしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 児童一人一人に「うつのみや元気っ子プログラム」のミニマムを意識させ、教科体育の内容や支援を工夫し、主体的に楽しみながら運動に取り組めるようにする。 ② 水泳検定やなわとび検定、「元気っ子チャレンジ」に積極的に取り組ませ、基礎体力の向上を図る。 ③ 縦割り班での遊びの時間を設定し、運動に親しむ機会をつくる。 ④ 6年間の記録がわかる個人ファイルを作成し、児童が主体的に目標を設定できるようにする。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は89%で、目標を上回った。 ・各種検定に意欲的に取り組む姿が見られた。 【次年度の方針】 ① ミニマムの記録を累積することができる記録表などを活用したり、結果を保護者に通知したりするなど、ミニマムの結果をより意識して運動に取り組むことができるように努める。 ② 継続実施 ③ 通年で長縄運動にするなど、体力向上を意識した縦割り班活動を行う。 ④ 目標の達成状況を、保護者へ発信する。
	A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 食生活のアンケートの結果を基に、個に応じた食育の指導を充実させる。 ② 食育だよりや保健だよりを定期的に発行し、食に関する意識を高める。 ③ 養護教諭や栄養職員の特性を生かして、日常の指導や授業に積極的に関わることで、食育を推進する。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は90%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① アレルギー対応や好き嫌いのある子への声掛けなど、個に応じた食育の指導を充実させる。 ② 継続実施 ③ 養護教諭や栄養職員が、学級活動や保健学習、家庭科などの授業に積極的に関わる。
	B3 児童は、自分の健康に関心を持ち、元気に生活している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、手洗い・うがい・歯みがきを、進んでしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 食中毒やインフルエンザの流行の時期には、休み時間ごとに、手洗い・うがいを徹底させ、予防に努める。 ② 給食後の歯みがきを各クラスで丁寧に実施する。養護教諭は児童の健康状態を把握し、担任と連携しながら、う歯及び歯周疾患の予防に努める。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は93%で、目標を上回った。 ・委員会による手洗いや歯磨き指導により、児童が健康に関心をもっている。 【次年度の方針】 ① 委員会活動などにより手洗い・うがいの励行を継続して実施する。 ② 歯磨き指導を徹底する。保護者に対して、歯科検診の結果を伝え、治療勧告などの事後指導を確実にを行う。
	A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 学習のめあてを明確にし、児童が意欲をもって学習に取り組めるよう、教材研究を充実させる。 ② 児童の実態を把握し、個に応じた指導の充実を図る。 ③ 話し合いの場を意図的に設定するなど、児童が意欲的に学習に取り組めるよう工夫する。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は94%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 子どもに分かる言葉で学習のめあてを明確にし、児童が意欲をもって学習に取り組めるよう、教材研究を充実させる。 ② 観察や小テスト等で児童の実態を把握し、個に応じた指導を効果的に行う。 ③ 話し方のマニュアルを活用して、個に応じた指導の充実を図る。話し合いの際には、観点を明確にするなど、言語活動の充実を図る

	A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 児童が落ち着いて学習に取り組めるよう、学習のきまりの指導を徹底する。 ② 自力解決の場面や集団解決の場면을授業に明確に位置づけ、児童が集中して学習に取り組めるようにする。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は89%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 学業指導の充実について、全職員で共通理解を図り、児童への指導を徹底する。 ② 問題把握、自力解決、集団解決、まとめ、振り返りなどの問題解決的学習を効果的に位置づけ、主体的に学ぶ児童の育成を目指す。
	A19 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① カリキュラムマネジメントを通して、地域の活動や行事との連携協力を図る。 ② 地域でのボランティア活動や行事等を積極的に広報し、児童へ参加を呼びかける。	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は61%であり、目標を下回った。 【次年度の方針】 ① 教育課程と地域の活動や行事との関連を図る。 ② 地区カレンダーを発行し、地域の活動を児童や家庭に広報する。
	B4 児童は、家庭学習に進んで取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「家庭学習に進んで取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 児童の実態に合わせた「家庭学習のすすめ」を配付し、発達の段階に応じた家庭学習の習慣化を図る。 ② 家庭学習の重要性について、学校便りや学年便り、学級懇談会等で呼びかけ、保護者の啓発に努める。	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は86%であり、目標を上回った。 【次年度の方針】 ① 「家庭学習のすすめ」を活用し、その学年で身に付けてほしい学習習慣について、児童や保護者に明確に示す。 ② 家庭学習の重要性について、学校便りや学年便り、学級懇談会等で呼びかけ、保護者の理解と協力を得る。
本校の特色・課題等	B5 学校は、栽培・緑化活動を通して、自然体験や体験的な学習を推進している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、栽培・緑化活動を行い、自然に親しんでいる」 ⇒地域の肯定的回答 80%以上	① 全校生で「みどりの少年団」に参加し、教科との関連を図りながら、緑化活動を推進する。 ② 保護者や地域人材を活用し、地域の特色を生かした栽培活動を推進する。	B	【達成状況】 ・地域の肯定的回答は100%であった。 ・豊かな自然環境を生かし、特色ある教育活動を実施することができた。 【次年度の方針】 ① 継続実施。 ② 地域の教育力を授業に取り入れるなど、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・評価に関する数値的指標は24項目中22項目で達成されており、概ね良好な状況である。
- ・「学校全体の活気・生き生きとした雰囲気」に関しては、高い評価であり、学校の教育活動は概ね良好である。
- ・「授業への取組」に関しては、児童の肯定的回答が89%（H29は77%）、保護者81%（H29は76%）と大きく改善された。学習のきまりの徹底等、全校体制での取組が結果としてあらわれた。
- ・「いじめへの取組」に関しては、保護者の肯定的回答が84%（H29は63%）であった。各種便りや授業参観でのいじめに関する授業公開等が保護者啓発につながった。
- ・「家庭学習や読書の習慣化」に関しては、保護者の肯定的回答は84%（H29は51%）であった。学年便りや懇談会等で家庭学習の重要性を発信したことが結果につながったと考えられる。
- ・「あいさつ」に関しては、児童の肯定的回答は94%、教職員が92%であるが、保護者は68%（H29は57%）であった。保護者については、10%以上上昇したが、まだ低い数値である。学校ではあいさつをするが、家庭や地域ではで

きていないと考えられる。学校と家庭・地域が連携・協力して、あいさつ指導を継続する必要がある。

- ・「時と場に応じた言葉づかい」に関しては、教職員の肯定的回答が84%（H29は64%）、保護者69%（H29は59%）であった。ともに大きく上昇したが、今後も学校と家庭が連携・協力し、時と場に応じた言葉づかいができるよう指導を継続する必要がある。

6 学校関係者評価

【学校経営全般に関すること】

- ・学校評価アンケートの結果が、昨年度と比べ上がっている項目が多く見られるので、学校の取組が評価されている。
- ・全体として、学校がよい方向へ進んでいる。教職員が真剣に教育活動に取り組んでいる。
- ・日課を変更し放課後の時間を確保したことで、授業の準備や児童・生徒指導の時間が生まれたことが、よい結果につながったのではないかな。

【学習に関すること】

- ・教員は、一人一人に目を向け、分かる授業の実践に努めている。
- ・児童は、授業中に先生の話をよく聞いたり、進んで話し合ったりと、授業に真剣に取り組んでいる。
- ・教員の働きかけにより、児童に学習習慣が身に付いてきている。

【児童・生徒指導に関すること】

- ・あいさつについては、徐々に改善されてきているが、今後も学校・家庭・地域が連携・協力して取り組む必要がある。
- ・感謝の会や給食試食会に参加したが、児童の親切な態度や心温まる接し方にたいへん感心している。今後も心やさしい児童の育成に取り組んでほしい。

【いじめ等に関すること】

- ・保護者の肯定的回答が大きく上昇したことは、いじめをテーマにした授業参観や各種便りでの情報発信が効果的であった。今後も学校の取組を計画的に発信してほしい。
- ・「いじめは必ず起こる」という危機感をもって児童と接し、早期発見に努めてほしい。
- ・ニュース等で児童虐待が問題となっているが、学校でも児童の様子をよく観察し、気になることがあったら迅速に対応してほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校経営】

- ・教育課程（教育計画）については、学校の実態に合わせ概ね適切に実施されていると考える。今後も地域の教育力を生かし「社会に開かれた教育課程」の実現に向け取り組んでいく。
- ・日課を変更し放課後の時間を生み出したことで、授業の準備を行う時間や児童指導の話し合いをする時間が確保され、個に応じた指導の充実が図れた。今後も、児童・教職員の両方の視点から、よりよい日課の在り方について工夫・改善していく。

【学習指導】

- ・学力調査等の結果から児童の現状と課題を全職員で分析し、指導内容や指導方法の改善を図る。
- ・教材研究を充実させ、分かる授業の実現を目指す。
- ・校内研修を通して教員の授業力の向上を目指す。
- ・家庭学習の重要性を家庭へ発信し、保護者の理解と協力のもと、児童の学習の習慣化を図る。

【児童・生徒指導】

- ・いじめ対策についての取組を継続し、学校と家庭が連携・協力して「いじめ撲滅」を目指す。
- ・「あいさつ」「時と場に応じた言葉遣い」の指導を、学校・家庭・地域が連携・協力して行う。
- ・「やさしく、かしこく、たくましく」の本校が目指す児童像に実現に向け、全教育活動を通して「心の教育」の充実を図る。
- ・事件事故等が発生した場合には、速やかに関係諸機関と連携・協力して課題解決にあたる。

【健康・体力】

- ・教科体育の充実や各種検定等を通して、児童の体力向上を目指す。
- ・業間や昼休みに積極的に外遊びをさせることで、運動に親しませ、体を動かすことの楽しさに気付かせる。
- ・自己の健康に関心をもち、健康管理に自主的に取り組めるよう、保健指導の充実を図る。
- ・家庭や各種団体との連携・協力を通して、児童の体力向上を目指す。
- ・給食指導を中心に、食に関する指導の充実を図る。